

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	課長会議
		決裁期日	平成 2 3 年 4 月 1 日
名 称	臨時課長会議		
日 時	平成 2 2 年 4 月 1 日(金) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 4 時 3 0 分		
場 所	役場 3 階 第 2 会議室		
出席者	町長、副町長、教育長 各課長 14 人 事務局 1 人 計 17 人		

内 容

町長あいさつ

・新しい年度がスタートした。今朝、新規採用職員より「職務の宣誓」をいただいたが、すべての職員がこの宣誓を想いおこし、職務に精励されたい。課題山積であるが、一つ一つ着実に課題の解決に努められたい。

新課長あいさつ

北川町民生活課長： 業務の幅が広い課であり、職責の重さを感じている。今後とも、ご指導を願いたい。

坂弥保健福祉課長： 昨年から福祉対策班を担当したが、保健福祉の分野は経験が浅く、皆様のご協力をお願いしたい。

進行：副町長

1 新組織体制について【総務課】

総務課長： 添付資料により説明。

- ・ IT 推進体制（担当主幹）及び行政手続きオンライン化に向けた各担当については、4 月 15 日までの報告を依頼
- ・ 標準手続き一覧に記載のない課にあっても、組織全体で共通認識を深めていくため、職員 1 名の報告をお願いする。

副 町 長： オンライン化条例制定に向けた準備となるので、それぞれ対応を図られたい。

全 体： 全体で確認する。

副 町 長： 新たな体制を全体で確認したが、一致団結して臨んでいきたい。

・ H24 を目途に、新たな組織機構の構築を目指すこととしている。その参考にもしたいと考えていることから、全課長職より「組織管理のあり方」について、レポートを求める。提出は 4 月 1 5 日までに、町長へ各自直接提出されたい。各自、自由記載で結構なので、組織管理上における日頃の対応や課題、あるべき姿などについて、記載されたい。

・各課長職にあつては、各分野のトップリーダーとして、改善を図れるものは各々の判断と責任において、積極的にその対応を図られたい。

2 平成23年度の行政執行について【総務課】

総務課長： 添付資料により説明。

副町長： 毎年（H19年度より）4月1日に新たな体制で臨時課長会議を開催し、行政執行における留意事項等を確認している。中には、基本的な事項、重要な事項でありながら、対応が図られていない事項もあるのではないかと考えられる。反省も含め、全体でしっかりと確認しておきたい。

・この度の大震災については、単に「復興、支援」というばかりでなく、地域の危機管理のあり方など、多くのことを学ばなければならない。

3 総合計画基本計画における数値目標の進行管理について【総務課】

総務課長： 添付資料により説明。

・5月18日までの提出を依頼。その後政策調整会議を経て、5月の課長会議で決定を予定している。

全体： 全体で確認する。

4 上富良野町政運営改善プラン23実践スケジュールについて【総務課】

総務課長： 添付資料により説明。

・4月15日まで提出を依頼。4月の課長会議で決定を予定している。

全体： 全体で確認する。

5 その他

防災担当課長： 福島県からの被災世帯5世帯が、本日から順次本町に到着予定となっている。

・本年度から防災士（臨時職員）を採用し、自主防災組織等へ指導助言にあたっていく。特に、町民生活課や保健福祉課に協力をお願いする場面も想定されるので、よろしく願う。

保健福祉課長： 互助会（3互助会）の義捐金については、総額821,500円を共同募金へ寄付した。

総務課長： 新卒（3年以内）未就職者就業支援の臨時職員（3名）について、4月5日に面接、4月11日からの勤務を予定している。現在、配置を希望しているのは教育振興課と保健福祉課である。その他希望があれば、早急に連絡をいただきたい。

教育長： 今回の大震災の報道等を通じて、子どもたちの心の心配（PTSD）も想定されることから、学校長を通じて注意喚起を促している。

閉会あいさつ

町長： 組織管理に対するレポートをお願いしたが、各課長のマニフェストと受け止め、参考にしていきたい。

・町の元気が失われつつあり、役場に求められる（期待される）事が大きくなっていく。各課長のリーダーシップのもと、全職員一致協力してその期待に応えていきたい。私もその先頭に立ち頑張る。

【14時30分終了】